

日本女性会議2012仙台

Japan Women's Conference in SENDAI 2012

「きめる、うごく、東北から」

2012年10月26日(金)・27日(土)・28日(日)

会場：仙台国際センター



震災から1年半、ここからの復興には、もっと女性の参画が必要です。
今この時だからこそ、被災地東北から、
「女性たちには社会を変える力も責任もある」ことを、ともに発信しましょう。

会議スケジュール

10月26日(金)

13:30~13:50 開会式(受付12:00~)
13:50~14:10 基調報告
14:30~17:00 特別プログラム
18:00~19:30 交流会

10月27日(土)

9:30~12:00 分科会(受付9:00~)
13:00~16:20 全体会(受付12:30~)
◆13:00~14:00 記念講演
◆14:20~16:20 シンポジウム
16:20~16:40 閉会式

※エクスカージョンは、26日(金)~28日(日)に5コースを実施

【主催】 日本女性会議2012仙台実行委員会・仙台市・(公財)せんだい男女共同参画財団
【特別協力】 ノルウェー王国大使館

10月26日(金)

開会式 13:30~13:50 (受付12:00~)

基調報告 13:50~14:10

「日本の男女共同参画施策の現状と今後の課題について」 講師:内閣府男女共同参画局

特別プログラム 14:30~17:00

女性たちが語る3.11~これまでと今と

東日本大震災から1年半。被災地の女性たちがどのような困難を抱え、どのように立ち上がってきたか、改めて3.11からを振り返るプログラム。

宮城、岩手、福島、それぞれの被災地で支援にかかわった女性たちが、全国に向けて現状と課題を発信します。

コーディネーター



宗片恵美子 特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事

内閣府中央防災会議「防災対策推進検討会議」委員。

2008年仙台市内の女性を対象に「災害時における女性のニーズ調査」を実施。仮設住宅での語り合いサロンなど、女性のニーズに寄り添った支援を行っています。

ひとこと
PR

被災地の女性たちを支えたのも被災した女性たちでした。ここに生まれたつながりには、困難を希望に変える力がありました。その静かな、そして熱いパワーにぜひ触れてください。

パネリスト



阿部憲子

南三陸ホテル観洋女将

震災直後は宿泊客や地元住民を収容して命の砦となり、その後も町民600人の二次避難所となるなど、地元の生活再建に大きな役割を果たしました。



石井布紀子

特定非営利活動法人さくらネット代表理事

被災地岩手県にて復旧・復興活動を行う地元団体を応援。災害にも強い福祉コミュニティづくり、防災減災教育に力を入れています。



伊藤仟佐子

仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台館長
震災後、子育てファミリーのための地震防災ハンドブック『大切な人を守るために今できること』を作成しました。



丹野綾子

河北新報社石巻総局記者

震災発生後は主に気仙沼市の被災地を取材。今年4月より石巻総局に勤務し、水産・漁業の復興状況などを取材しています。



二瓶由美子

桜の聖母短期大学准教授

震災と原発事故の被害を受けた福島からの声をメールで発信。昨年11月には、福島県のメンバーで構成されたチェルノブイリ調査団にも参加しました。

■定員 2,200名

■会場 本会場:大ホール / 1,000名 中継会場:橘 / 540名、萩 / 440名、白檀1 / 220名

※当日、開会式から先着順でのご入場となります。大ホールが定員に達した場合は、中継会場で映像をご覧ください。

交流会 18:00~19:30 (受付17:30~)

東北に住むわたしたちは、スタッフ・ボランティアを含め、誰もが被災体験の語り部です。大切にしたい出会いがきっとあります。ぜひご参加ください。

■会場 桜

10月27日(土)

分科会 9:30~12:00 (受付9:00~) 内容・会場は内面をご覧ください

全体会 13:00~16:20 (受付12:30~)

記念講演 13:00~14:00

女性のエンパワメント~ノルウェーからのメッセージ 同時通訳

ノルウェーでは1981年に初の女性首相(グロ・ハーレム・ブルントラント)が誕生し、女性の意思決定の場への参画が大きく進みました。近年は国会議員に占める女性の割合が約40%に達しています。しかし多様性を尊重する社会づくりを進めてきた一方で、昨年7月に首都オスロで発生したテロ事件に象徴されるように、移民政策などに対する大きな反動もあります。

震災から立ち上がろうとする東北・仙台と、悲惨な事件を乗り越えていくノルウェー。新しい時代を切り開くため、これまで以上に、女性が変革の担い手になることが重要になっています。

意欲あふれる国会議員アネットさんが、復興を担う日本の女性たちに向けて語る、自らの体験や信念。きっとわたしたちに希望と勇気を与えてくれるでしょう。



講演者 **アネット・トレットバルグステューエン**

ノルウェー王国国会議員

ハーマル市議会議員を経て2005年から国会議員、労働・社会問題常任委員会第二副委員長。ノルウェーで将来を嘱望されている若手政治家のひとり。1981年生まれ。

シンポジウム 14:20~16:20

きめる、うごく、東北から

復興とは震災前に戻ることではなく、困難を乗り越え、以前よりもさらにより社会をつくりあげることです。そのために、わたしたち一人ひとりがやるべきことは?

会議を総括するこのシンポジウムでその答えを見つけ、未来に向けたいねりを起こしていきましょう。

コーディネーター

辻村みよ子

東北大学大学院法学研究科教授
東北大学ディスティングイッシュドプロフェッサー
内閣府男女共同参画会議議員



コメンテーター

アネット・トレットバルグステューエン

ノルウェー王国国会議員

堂本暁子

前千葉県知事
男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表



パネリスト

渥美由喜

東レ経営研究所ダイバーシティ&
ワークライフバランス研究部長
厚生労働省政策評価委員



石本めぐみ

RQ被災地女性
支援センター副代表



日置真世

北海道から地域づくりを
創造・発信する 場づくり師



■定員 2,200名

■会場 本会場:大ホール/1,000名 中継会場:橘/540名、萩/440名、白樺1/220名

※当日、全体会は先着順のご入場となります。大ホールが定員に達した場合は、中継会場で映像をご覧ください。

閉会式 16:20~16:40

分科会のご案内

10月27日(土) 9:30~12:00 (受付9:00~)

1

復興・防災に女性の声を ~出す、ひろう、生かす

パネルディスカッション

今、全国各地で、防災や減災に向けた地域づくりや新しい取り組みが模索されています。初日の特別プログラムで発信された現状と課題を踏まえ、東日本大震災後の調査報告や研究者の分析などから、復興・防災のプロセスに女性が参画していくための方策を探ります。

コーディネーター：佐藤理絵(河北新報社教育プロジェクト事務局部長、
仙台市男女共同参画推進審議会委員)

パネリスト：宗片恵美子(特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事)
山地久美子(関西学院大学災害復興制度研究所研究員、
特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所副理事長)
浅野幸子(東京女学館大学非常勤講師、早稲田大学
「地域社会と危機管理研究所」客員研究員)

ひとこと
PR

災害時、女性が直面した困難の背景には、男女共同参画をめぐる様々な課題があります。その解決のために女性たちの声をどう届けていったらいいのか、一緒に考えていきましょう。

■定員 1,000名
■会場 大ホール

2

「困難すごろく」でみる 女子の生きづらさ

対談+パネルディスカッション

貧困、非正規雇用、DVなど、女性が抱える「困難」は個々の問題ではなく、社会全体の課題です。震災によってより深刻になっている「困難」を可視化し、女性たちのゆるやかなつながりを通して、「ときほぐす」ことを提案します。

コーディネーター：浅野富美枝(宮城学院女子大学学芸学部生活文化デザイン学科教授)
講師・パネリスト：雨宮処凛(作家・反貧困ネットワーク副代表)
パネリスト：大塚憲治(障害者就労支援事業所エコ・ライフ・パンピの社職員、
元婦人保護施設・母子生活支援施設施設長)
門間尚子(おとな女子3040PROJECT代表)

ひとこと
PR

「あなたの『困難』は、私の『困難』—これが、本分科会の合言葉です。気づきと共有が、「困難」の先にある「ワタシらしい歩み」のヒントとなるはずです。さあ、Let's 困難解体!

■定員 540名
ちほな
■会場 橘

4

東日本大震災・原発事故 と母子支援

~妊産婦と赤ちゃんをどう守れるか

パネルディスカッション

震災直後から、妊娠・出産…、待たなしの対応を求められました。津波、避難生活、ライフラインや物資の途絶、そして原発事故。かつてない非常事態の中、女性と子どもの命を守ろうと力を尽くした母子保健のプロたちによる報告と提言です。

コーディネーター：村口喜代(リプロネットみやぎ代表、医師)

パネリスト：伊藤朋子(とも子助産院代表、助産師)
宗形初枝(社団法人郡山医師会郡山市医療介護病院看護部長、助産師)
豊福明子(仙台市若林区役所保健福祉センター
家庭健康課母子保健係長、保健師)

ひとこと
PR

「性の健康」に関わる根源的営みを担うのは女性です。未曾有の大震災の真っ只中、妊娠・出産・授乳・子育て中の女性たちがどう生き延びたのか、どう守ったのか、お伝えします。

■定員 220名
■会場 しろかし
白檀1

5

企業でキャリアを 積むということ

~わたしたちのネクストビジョン

リレートーク

地元企業の中核として活躍する女性たちが、これまで直面してきた課題、キャリアビジョンなどを語り合います。女性が組織でキャリアを積みながら、企業や地域の復興・活性化にどう貢献し、どう成長できるか。ともに考えましょう。

進行：渡辺祥子(フリーアナウンサー)

話題提供者：今野彩子(株式会社ユーメディア 取締役)

門脇佐知(株式会社ユーメディア せんだいタウン情報machico編集長)

畠山明(個別教室・家庭教師のアップル 代表)

三浦美紀子(個別教室・家庭教師のアップル 仙台事務局長)

氏家佳子(株式会社エンタツ 総務・経理)

小松範子(株式会社友美 オフィスマネージャー)

コメンター：門田陽子(Harmony社会保険労務士事務所 代表)

ひとこと
PR

この会社に彼女あり!の、地元企業の若手女性リーダーが集います。様々な難しさを乗り越えて、「企業でキャリアを積む」選択肢を選ぶ女性たちが増えることを願って企画しました。

■定員 110名
しろかし
■会場 白檀2

3

役に立つ「人権」の話

てい談

災害時はDVや子ども・高齢者に対する虐待が増えることが明らかになってきました。それらを防止するためには、平時から人権感覚を養うことが大切です。ジェンダーチェックやハラスメントチェック、支援者のためのガイドラインなど、地域で活用できるツールもご紹介します。

コーディネーター：小林純子(特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ代表理事)
パネリスト：三條秀夫(東北学院大学法学部准教授)
八幡悦子(特定非営利活動法人ハーティ仙台代表理事)

ひとことPR

人権って?「大事だけど難しい」「法律用語」と感じていませんか?
「人権ってこういうことだったのか!」
きっとそう思える分科会。
乞うご期待!

■定員 440名
■会場 ほぼ 萩

6

支援から交わりへ ～「外国人妻」が地域住民になる日

パネルディスカッション

東北に暮らす外国人妻たちの中には、来日10年以上を経て、地域社会に貢献する「人材」として活躍している人もいます。外国で力強く生き抜くために何が必要か、外部からの支援と身近な人々との交わりとを対置させて検討します。また、国際結婚をした日本人女性の体験も聞きながら、外国人妻が地域の一員になることについて考えます。

コーディネーター：李仁子(東北大学教育学部准教授)
パネリスト：阿部梅子(有限会社うめちゃんキムチ本舗代表取締役)〈韓国出身〉
後藤キャサリン(福島県国際交流協会タガログ語通訳員、
ハワクカマイ福島(フィリピンコミュニティ)会長
〈フィリピン出身〉)
村上永花(恵泉会介護支援センター 介護福祉士)〈中国出身〉
河野恵子(韓国富川市多文化講師)〈日本出身、韓国在住〉
李善姫(東北大学法学研究科GCOE「グローバル時代の
男女共同参画と多文化共生」フェロー)〈韓国出身〉

ひとことPR

「支援する側(日本人)」と「支援される側(外国人女性)」の構造は、「男性」と「女性」のそれに類似しています。地域の人材として活躍する外国人女性の物語の中心は交わりにあります。

■定員 96名
■会場 小会議室1

会場までのアクセス

会場へは大会専用シャトルバスや公共交通機関をご利用ください。

大会専用シャトルバスのご案内

大会期間中(10月26日(金)～27日(土))、JR仙台駅～仙台国際センター間で、大会専用のシャトルバスを運行します。利用ご希望の方は、「参加申込書」の大会専用シャトルバス欄に「○」を付けてお申し込みください。運行スケジュール等の詳細は、参加者証送付時にご案内いたします。



◎利用料金:500円(お一人様あたり)

- ・上記2日間、何度でもご利用いただけます。
- ・台数・座席数に限りがございますので、先着順(1,000名)とさせていただきます。

仙台市営バス

乗車 JR仙台駅西口バスプール9番のりばより次のいずれかにお乗りください。
710「宮教大・青葉台」
713「宮教大・成田山」
715「宮教大」
719「動物公園循環(青葉通・工学部経由)」
720「交通公園・川内営業所」
下車 「博物館・国際センター前」でお降りください。
料金片道 180円
所要時間 約15分 ※道路の混雑状況により多少変わります。

タクシー

JR仙台駅西口から約10分

エクスカーション

被災地の視察をメインとしたコースをご用意しました。被災地を訪れ、食事をしたり、買い物をしたり、交流したり…、すべてが復興の応援になります。

そこで暮らす・働く方々との触れ合いを通じて、新聞やテレビでは伝えきれない、被災地の生の声や、街のようすを感じていただけると思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

- ※被災地視察の内容は、大会開催時の復興状況等を踏まえて決めさせていただきます。
- ※旅行代金は、お一人様あたりの代金です。
- ※大会用エクスカーションは、トップツアー(株)仙台支店が企画・実施する募集型企画旅行です。詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しますので、事前にご確認のうえ、お申し込みください。

C

土日 1泊2日プラン

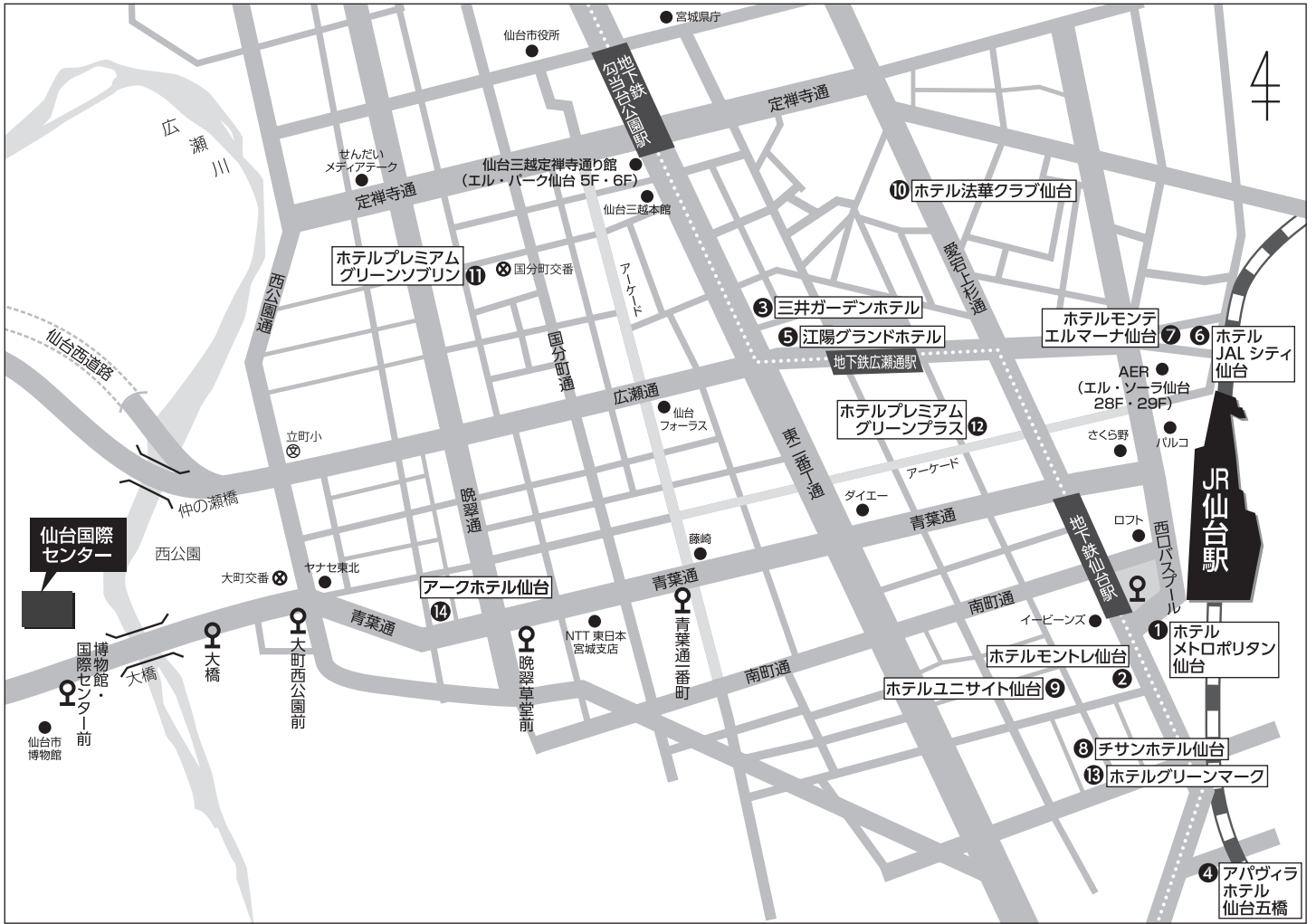
南三陸町復興応援ツアー

【日程】10月27日(土)～28日(日) 【旅行代金】お一人様22,500円
募集人員80名(最少催行人数25名) / 添乗員同行 / 夕食1回・朝食1回・昼食1回

津波により、深刻な被害を受けた南三陸町をめぐるツアー。土曜日は、大会特別プログラムのパネリスト、阿部憲子さんが女将を務める「南三陸ホテル観洋」に宿泊。語り部からの体験談、仮設商店街や復興市でのお買い物などを通じて、被災地の人々と触れ合い、復興を応援するツアーです。

- 10/27(土):仙台国際センター(17:00頃)===南三陸ホテル観洋(夕食・宿泊)
- 10/28(日):震災語り部体験談(10:00頃)===津波被害の視察・仮設商店街やフリーマーケット、復興市にご案内(予定)===松島近郊(昼食・被災地視察)===仙台駅西口(16:00頃)

会場・ホテルのご案内



エル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台は仙台市男女共同参画推進センターです。

行って 出会う 感じる ことが応援になる! 10月26日(金)~28日(日)

A 金曜 午前プラン プレコース 仙台市内被災地視察

【日程】10月26日(金) 【旅行代金】お一人様6,000円
募集人員40名(最少催行人数20名) / 添乗員同行 / 昼食付(弁当)

大会初日の午前の時間を活用して市内の被災地をめぐる、津波の被害とそこからの復興の様子を見学します。前泊の可能な方、大会終了後すぐ帰路につきたい方やご予約のある方などにおすすめです。視察後、会場の仙台国際センターまでバスで移動します。

仙台駅西口(9:00頃)===被災地視察・交流===仙台国際センター(12:00頃)

B 土曜 ナイトプラン “紅葉ライトアップ” 円通院堪能

【日程】10月27日(土) 【旅行代金】お一人様9,800円
募集人員40名(最少催行人数20名) / 添乗員同行 / 夕食付

日本三景のひとつ、宮城県松島町にある円通院。毎年秋になると、庭園の美しく色づいた紅葉がライトアップされ、幻想的な雰囲気を醸し出します。隣接するお食事処で季節の料理をご賞味いただいたあと、鮮やかな紅葉をゆっくりお楽しみいただきます。※天候により紅葉の時期がずれる場合があります。予めご了承ください。

仙台国際センター(17:00頃)===松島市内“洗心庵”(夕食・季節の料理)===円通院“紅葉ライトアップ”===仙台駅西口(21:00頃)

D 日曜 日帰りプラン① 仙台市内被災地視察と伝統の笹簀料理

【日程】10月28日(日) 【旅行代金】お一人様8,500円
募集人員40名(最少催行人数20名) / 添乗員同行 / 昼食付

午前中は、市内の被災地をめぐる、津波の被害とそこからの復興について地元の方からお話を聞きます。昼食は、築100年以上の歴史を誇るかつての伊達家の邸宅「鐘景閣」で、四季の食材を趣きある仙台笹簀に納めた伝統的「笹簀料理」をご堪能いただきます。

仙台駅西口(8:00頃)===被災地視察・交流===定禅寺通(車窓)===旧伊達邸鐘景閣(昼食・笹簀料理)===仙台駅西口(14:00頃)

E 日曜 日帰りプラン② 仙台市内被災地視察と鐘崎笹かま館でのお買い物

【日程】10月28日(日) 【旅行代金】お一人様8,500円
募集人員40名(最少催行人数20名) / 添乗員同行 / 昼食付

午前中は、津波で甚大な被害を受けた「キリンビール仙台工場」を中心に、仙台新港周辺をめぐる。午後は、宮城の食と文化をまるごと体験・お買い物もできる「鐘崎笹かま館」を訪問。被災しながらも、復興にいち早く取り組んできた企業とそこに働く方々を訪ねるプランです。

仙台駅西口(9:00頃)===定禅寺通(車窓)===キリンビール工場など被災地視察===仙台市内(昼食)===鐘崎笹かま館===仙台駅西口(15:00頃)

宿泊・お弁当の申込について

宿泊について

10月25日(木)チェックイン～10月28日(日)チェックアウトまでの3泊分をご用意しています。
 旅行代金は「1泊朝食付・税サービス料込み」の一人様あたりの代金です。
 「参加申込書」の宿泊欄にご希望ホテルの下記の申込番号を記入してお申し込みください。
 ※最少催行人数:1名(添乗員は同行いたしません)

地図記号	宿泊ホテル名	部屋タイプ	旅行代金	申込番号	備考
①	ホテルメトロポリタン仙台	シングル	14,280円	1-S	仙台駅徒歩1分 2010年2月全客室の改装完了
		ツイン	11,655円	1-T	
②	ホテルモンテレ仙台	シングル	10,500円	2-S	仙台駅徒歩3分 館内に天然温泉を併設(有料)
		ツイン	8,400円	2-T	
③	三井ガーデンホテル	シングル	10,500円	3-S	仙台駅徒歩10分 大浴場と 全室に加湿機能付空気清浄機完備
		ツイン	-	-	
④	アパヴィラホテル仙台五橋	シングル	9,500円	4-S	仙台駅より徒歩8分 東北地区最大級天然温泉大浴場あり
		ツイン	-	-	
⑤	江陽グランドホテル	シングル	9,500円	5-S	仙台駅より徒歩8分 仙台真ん中に 位置する東北の美術館ホテル
		ツイン	9,500円	5-T	
⑥	ホテルJALシティ仙台	シングル	9,000円	6-S	仙台駅徒歩3分 全室加湿器完備
		ツイン	-	-	
⑦	ホテルモンテエルマーナ仙台	シングル	7,875円	7-S	仙台駅徒歩3分 モンレグループで質感も◎
		ツイン	5,775円	7-T	
⑧	チサンホテル仙台	シングル	7,800円	8-S	仙台駅より徒歩5分 低価格で快適さをお約束
		ツイン	7,500円	8-T	
⑨	ホテルユニサイト仙台	シングル	7,600円	9-S	仙台駅より徒歩3分 居住性と利便性◎ 仙台朝市が目の前
		ツイン	-	-	
⑩	ホテル法華クラブ仙台	シングル	7,500円	10-S	仙台駅より徒歩10分 地産地消の朝食バイキングが人気
		ツイン	6,500円	10-T	
⑪	ホテルプレミアムグリーンソブリン	シングル	7,500円	11-S	東北一の繁華街 国分町中心の好立地
		ツイン	-	-	
⑫	ホテルプレミアムグリーンプラス	シングル	7,400円	12-S	クリスマスロードアーケード街に位置 お買物にも最適
		ツイン	-	12-T	
⑬	ホテルグリーンマーク	シングル	7,100円	13-S	仙台駅から徒歩5分 24時間淹れたてコーヒーをサービス
		ツイン	-	-	
⑭	アークホテル仙台	シングル	6,975円	14-S	仙台国際センターに最も近く、 2009年3月大浴場完成
		ツイン	6,300円	14-T	

昼食弁当について

10月26日(金)・10月27日(土)の昼食弁当(1,000円/お茶付・税込)の申込を承ります。
 「参加申込書」の弁当欄に「○」を付けてお申し込みください。会場内の食事施設は収容人数に限りがあり、
 また周辺に食事施設やコンビニ等はほとんどございません。お弁当の申込をお勧めいたします。
 ※事前予約のみの受付となっております。当日販売はございませんので、予めご了承ください。

変更・取消について

ご予約の変更・取消は「参加申込書」に変更・取消内容を記入し、郵送またはFAXにてトップツアー(株)仙台支店までご連絡ください。変更・取消内容記入のための用紙は「日本女性会議2012仙台」のホームページからもダウンロードできます。インターネットからのお申込の方は、9月5日(水)まではホームページ上での変更が可能です。それ以降の取消・変更につきましては「参加申込書」に取消・変更内容を記入の上、郵送またはFAXでご連絡ください。

【取消料一覧】

宿泊	旅行開始日の前日から起算して8日目 無料		旅行開始日の前日から起算して7日目～1日目 旅行代金の20%		当日 旅行代金の50%	旅行開始後または無連絡不参加 旅行代金の100%
	エクスカーション (観光)	開始日の前日から起算して				当日の観光開始前 50%
	9日まで 無料	10～8日目 20%	7～2日目 30%	1日目 40%		
大会・交流会参加費 ・シャトルバス代	10月5日(金)以降 全額返金できません		弁当	10月25日(木)まで 無料		10月26日(金)以降 全額返金できません

※宿泊当日17時までには当支店または宿泊施設に取消の連絡がない場合は無連絡として取り扱い、100%の取消料を申し受けます。
 ※上記取消料につきましては、1件1名様あたりにつき申し受けます。
 ※予約変更や取消により発生した差額は、大会終了後11月15日(木)までに指定口座に返金いたします。

※大会参加者の宿泊・エクスカーションは、トップツアー(株)仙台支店が企画・実施する募集型企画旅行です。弁当申込は旅行契約には該当しません。
 ※大会・交流会参加費は大会事務局に代わりトップツアー(株)が代行収受するものです。

日本女性会議2012仙台

2012年10月26日(金)・27日(土)・28日(日)

参加費

大会のみ参加……………お一人様 4,000円
大会と交流会参加……お一人様 9,000円

参加申込手順

6月15日(金)～9月5日(水)
参加申込期間(この期間にお申し込みください)

9月21日(金)までに参加決定通知書をご送付します

10月3日(水)までに参加費等をお振り込みください

10月12日(金)までに参加者証等をご送付します

※本大会の申込は先着順で承ります。定員になり次第、締切とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。別途詳しい旅行条件書を添付していますので、事前にご確認の上お申し込みください。

申込手続

郵送またはFAXによる申込

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、下記申込先へ郵送またはFAXにてお申し込みください。

※参加申込書は「日本女性会議2012仙台」のホームページからもダウンロードできます。
※参加申込書のコピーをお手元に残しておいてください。変更・取消連絡の際に必要になります。

インターネットによる申込

「日本女性会議2012仙台」のホームページの参加申込をクリックし、申込フォームよりお申し込みください。

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/2012sendai/>

郵送・FAX・インターネット申込締切日

2012年9月5日(水)

参加手続およびエクスカーションについてのお問合せ・申込先

旅行企画
実施



トップツアー株式会社 仙台支店

観光庁長官登録旅行業第38号 JATA正会員 ボンド保証会員



TEL 022-263-3232 FAX 022-265-5765 E-mail joseikaigi_sendai@toptour.co.jp

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-18 日石仙台ビル3階

■受付時間/平日9:20～18:00 土曜9:20～12:40 ■休業日/日曜・祝日

総合旅行業務取扱管理者 佐竹 晃
(東北12041)

【担当者】日本女性会議2012仙台係 高橋 有希・後藤 輝大

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご相談ください。

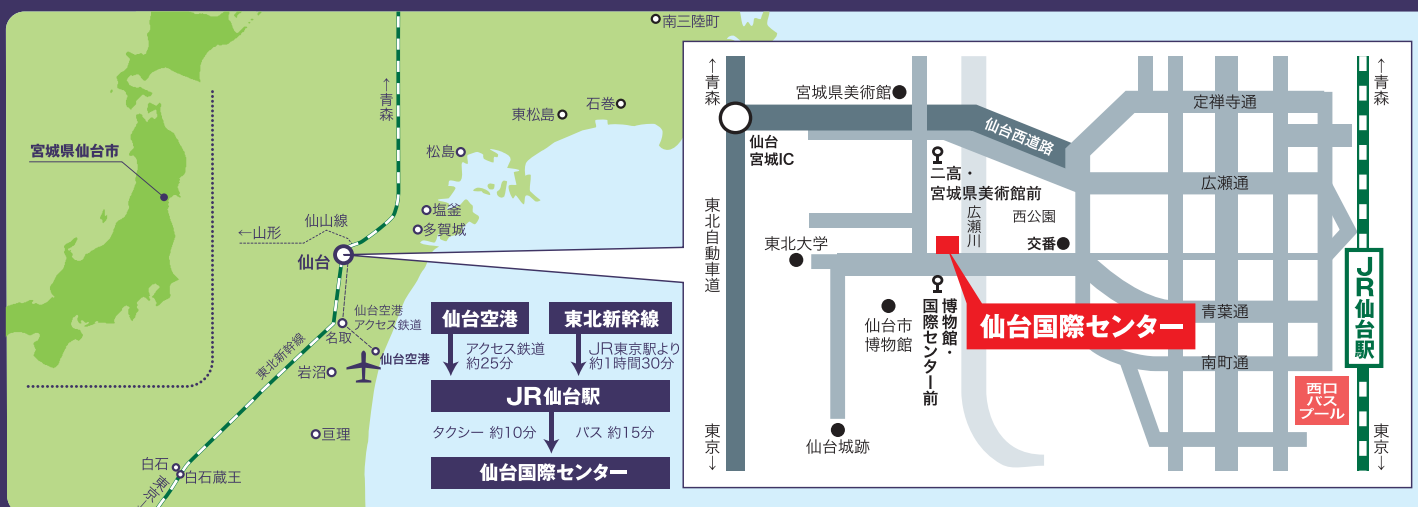
応援します。がんばろう日本、がんばろう東北

タクシー被災地巡り 3時間 15,900円～ ※時間・料金などのご希望はトップツアー(株)仙台支店にご相談ください。

タクシードライバーの案内にて津波により被災された地域を巡り、震災当初の様子や復興への歩みなど、目で感じるきっかけをご提供します。

*その他、宿泊や交通手段の個別の要望にもお応えします。お気軽にご相談ください。

・紅葉の名所に行ってみたい… ・せっかくの仲間でもう1泊したい… ・地元のおいしいものを食べたい… ・東北の温泉地でゆっくり寛ぎたい… などなど



【主催】日本女性会議2012仙台実行委員会・仙台市・公益財団法人せんだい男女共同参画財団

【お問合せ】日本女性会議2012仙台実行委員会事務局(公益財団法人せんだい男女共同参画財団内)

〒980-6128 仙台市青葉区中央1-3-1 AER29階 TEL 022-212-1627 FAX 022-212-1628 E-mail joseikaigi@sendai-l.jp

URL <http://joseikaigi2012sendai.jp/>

日本女性会議

検索

